

FRAME
ARMS GIRL
MULTI ASSEMBLE MECHANICS UNIT



NON SCALE
FULL ACTION
PLASTIC MODEL KIT

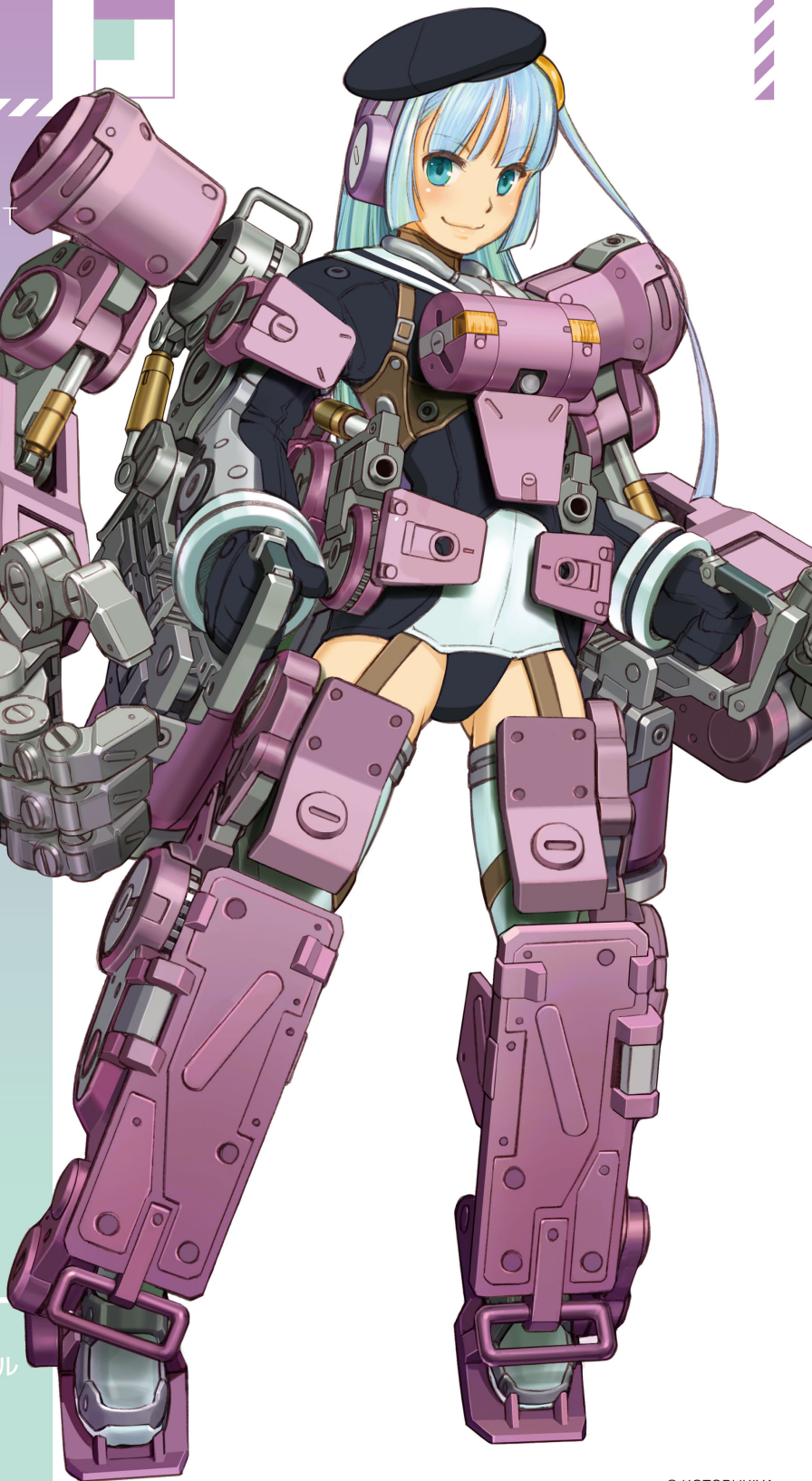
GRIFEN

Ultramarine
Violet Ver.

フレームアームズ・ガール

グライフェン

Ultramarine Violet Ver.



© KOTOBUKIYA

CRAFTSMANSHIP
KOTOBUKIYA



シリーズコンセプト

- ・マルチカラーキット仕様、タンポ印刷済みのフェイスパーツで、塗装せずに組んだだけでも完成します。
- ・フレームアームズ・ガール各機体との頭部、腕部、脚部等の互換性を確保しています。
- ・発売中の M.S.G ウェポン・ヘヴィウェポン、フレームアームズと組み合わせる楽しみ事ができます。

GREIFEN
Ultramarine
Violet Ver.



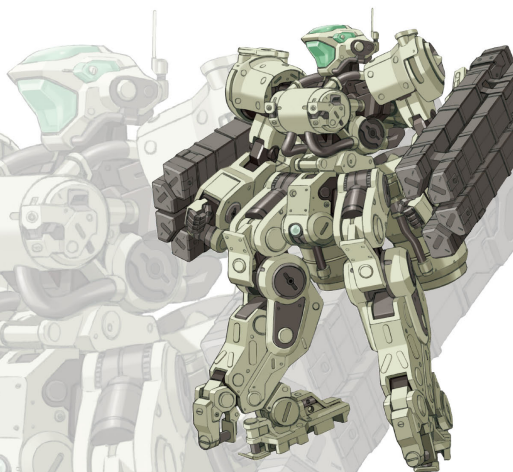
FRAME ARMS GIRL and FRAME ARMS Designed by 木下ともたけ



フレームアームズはコトブキヤが提案するオリジナルロボットメカニック商品。中核となる素体（フレーム）に外装（アーマー）を装着することによって、様々なデザインのロボットを簡単に組み上げることができ、さらに共通素体・外装の組み換えにより無限のバリエーションを造ることが出来ます。

EXF-10/32 グライフェン

EXF-10/32（グライフェン）は、海底作業用特殊重機「EXF-10」を戦闘用に改修したFAである。
Reスフィア計画に先立ち行われた新型汎用重機開発計画において、各国の技術グループから複数のコンセプトプランが提出された。
その中の一つである「EXFプラン」に、本機の原型を見ることができる。



⚠ 注意

必ずお読みください。

- 本製品の対象年齢は15歳以上です。対象年齢未満の方には、絶対に与えないでください。
- 窒息などの危険がありますので、誤飲に注意してください。小さなお子様には絶対に与えないでください。
- 製法上やむをえず尖った形状の部品がありますので、誤って目や皮膚を刺さないように注意してください。
- 部品加工の際、出た削りカスを吸わないように注意してください。
- 塗料や接着剤の使用の際、必ず換気を良くして行なってください。
- 部品の加工の際、刃物の取り扱いには充分注意してください。
- ぶついたり振り回すなどの、乱暴な遊びをしないでください。思わぬケガをする危険があります。
- 本製品は予告無く仕様を変更する場合があります。ご了承ください。

English instructions available at: <http://en.kotobukiya.co.jp/instructions>

■組み立てる前に必ずお読みください。

- 組み立てる前に必ずパーツリストで各パーツの有無を確認してください。
- パーツはニッパー・カッター等できれいに切り取ってください。
(ケガには十分注意してください)
- 組み立てには、カッターナイフ・プラスチックモデル用塗料などを使用します。
- 塗料はより安全な水性塗料をおすすめします。
- 工具・材料は、模型用品取扱店等でお買い求めください。
- 塗装についてのお問い合わせはお答えできかねる場合がございます。

【パーツの接続について】

当キットの組み立てはハメ込み式ですが、別売りのプラスチックモデル用接着剤を使用して組み立てることで、よりしっかりとした仕上がりをお楽しみ頂けます。

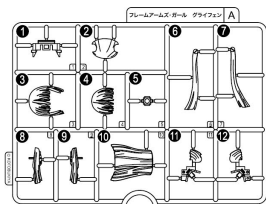
※ABS製パーツの接着には、ABS用接着剤をご使用ください。

フレームアームズ・ガール グライフェン Ultramarine Violet Ver./パーツリスト

※パーツC(グレー)、パーツD(ホワイト)、パーツE(ホワイト)はボーナスパーツです。お好みでご使用ください。

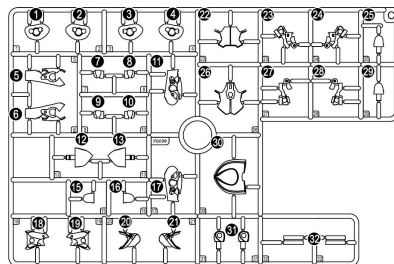
パーツA

(スチロール樹脂: PS)



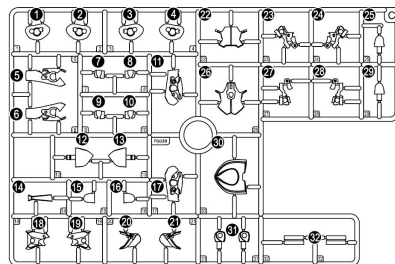
パーツC(ホワイト)

(スチロール樹脂: PS)



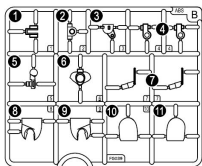
パーツC(グレー)

(スチロール樹脂: PS)



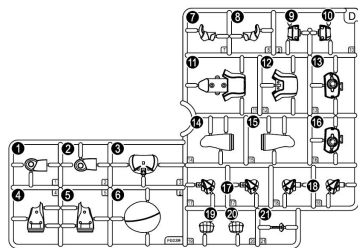
パーツB

(ABS樹脂: ABS)



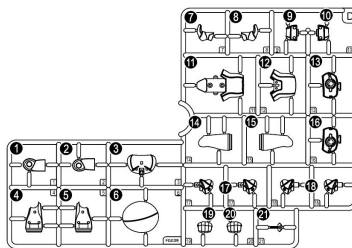
パーツD(ネイビー)

(スチロール樹脂: PS)



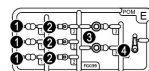
パーツD(ホワイト)

(スチロール樹脂: PS)



パーツE(ネイビー)

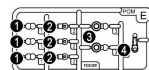
(POM樹脂: POM)



※パーツE①(ネイビー)、E②(ネイビー)は1つ余ります。予備としてご使用ください。

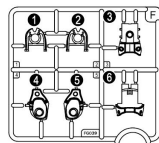
パーツE(ホワイト)

(POM樹脂: POM)



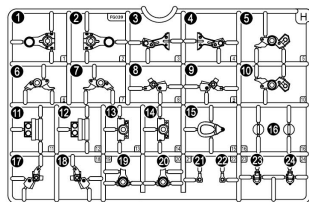
パーツF

(スチロール樹脂: PS)



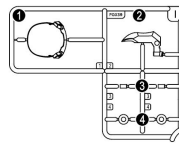
パーツH

(スチロール樹脂: PS)



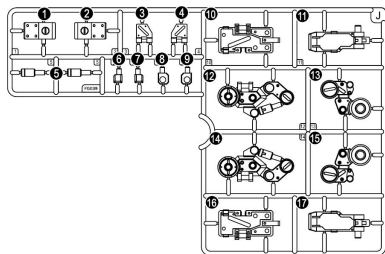
パーツI

(スチロール樹脂: PS)



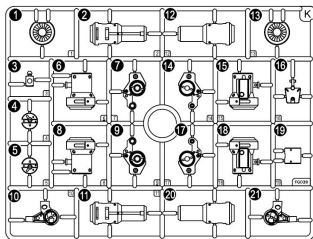
パーツJ

(スチロール樹脂: PS)



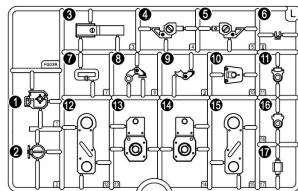
パーツK

(スチロール樹脂: PS)



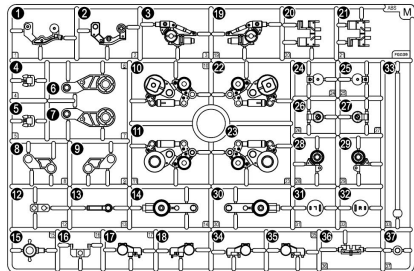
パーツL×2

(スチロール樹脂: PS)



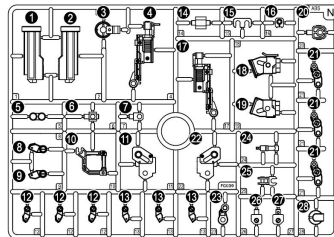
パーツM

(ABS樹脂: ABS)



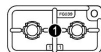
パーツN×2

(ABS樹脂: ABS)



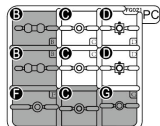
パーツO

(スチロール樹脂: PS)



PC(ポリキャップ)パーツ

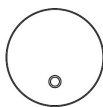
(ポリエチレン: PE)



※グレー部分は余りパーツです。

台座

(ABS樹脂: ABS)



フェイスパーツ



通常顔
正面向き
(ABS樹脂: ABS)



通常顔
右向き
(ABS樹脂: ABS)



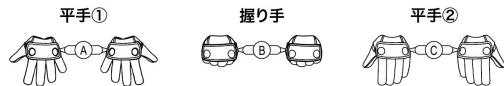
笑顔
左向き
(ABS樹脂: ABS)



口パーツ
(スチロール樹脂: PS)

ハンドパーツ

(非フタル酸PVC)



※図はランナー部分を一部省略しています。

塗装済みパーツ

首パーツ

(ABS樹脂: ABS)



ネクタイ

(スチロール樹脂: PS)



※塗装部分は模型用の薄め液で落とす事が可能です。

※ABS製パーツへの塗装は、パーツの破損につながる恐れがありますので、お勧めできません。

※POM製パーツ、PVC製パーツは材質上、塗料をはじくため塗装はお勧めできません。

水転写デカール

記号の説明

Symbol Explanation



水転写デカールの貼り方

- ハサミまたはデザインナイフ、ピンセット、綿棒などを用意してください。
- デカールを貼る部分の油分をあらかじめ中性洗剤などで拭き取るとしっかりと貼ることができます。



デカールが乾くまで手を触れないようにしてください。

- ①使用するデカールをハサミまたはデザインナイフで台紙ごと切り取ります。
- ②切り取ったデカールを水またはぬるま湯に約10秒程浮かべ、ピンセットで引き上げます。
- ③デカールを台紙からはがし、位置を調整しながら貼り付けます。
- ④貼り付けたデカールの上から綿棒をやさしく押しあて、残っている水分を押し出します。デカール部分が完全に乾けば完成です。

●ざらざらした面や凹凸面、水を吸い込む物（ざらざらした塗装していない木製品等）には貼ることができませんのでご注意ください。

●もし失敗してはがしたい場合は水をたっぷりと含ませたタオル等を10分程あてて、軽くこすってください。

〈曲面にデカールを貼る際のワンポイント〉

別売りの「デカール軟化剤」を使用することで、デカールが柔らかくなりますので、曲面にきれいに密着させることができます。最後に別売りの「表面仕上げ用コート剤スプレー」をデカールに軽く吹きかけることで、より破れにくい仕上がりになります。

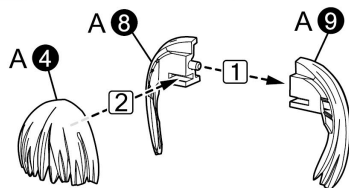
※パーツを取り付ける際には、デカールを貼った面に触れないように注意しながら取り付けてください。

※デカール軟化剤を塗るとデカールが破れやすくなります。貼った後は完全にかくまでデカールに触れないようにご注意ください。余白ができた場合は、パーツの形に沿って切り取るか、内側に折り込んでください。

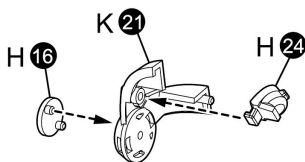
※「デカール軟化剤」と「表面仕上げ用コート剤スプレー」のご使用の際には、製品説明をよくご確認ください。

素体状態の組み立て

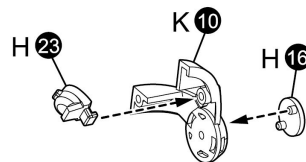
1 頭部の組み立て



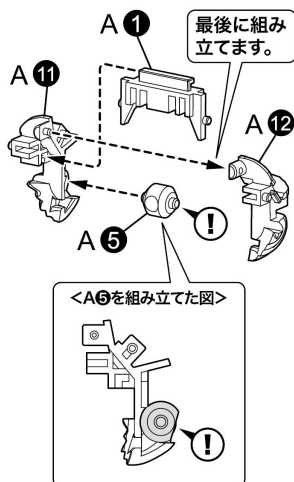
2



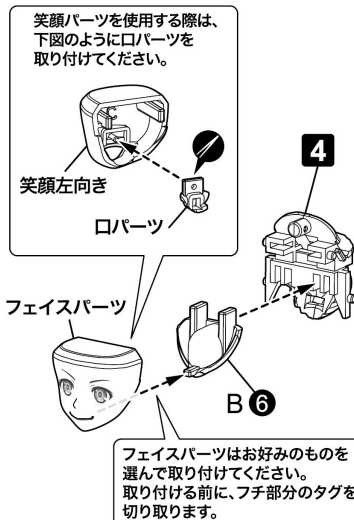
3



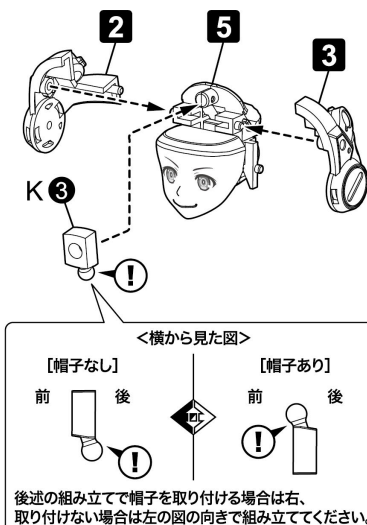
4



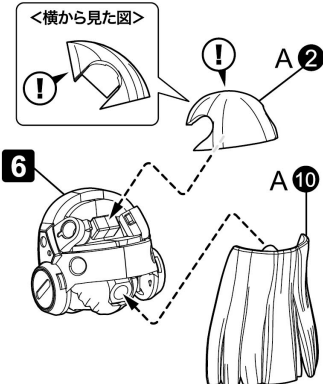
5



6

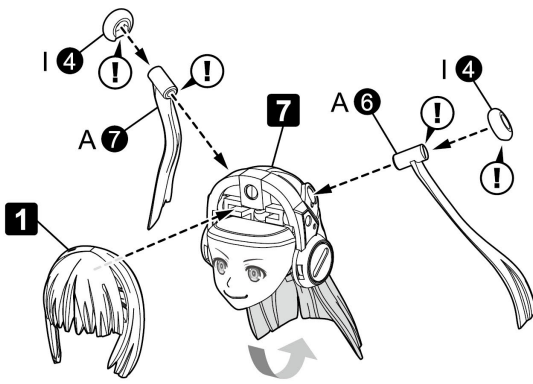


7



8 〈帽子なし頭部の完成〉

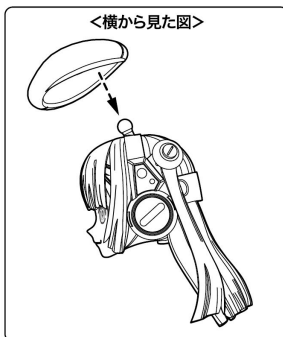
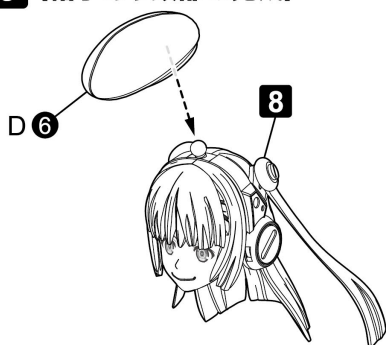
※帽子なし頭部を組み立てる場合は、この項で完成です。
帽子あり頭部を組み立てる場合は、9に進んでください。



フェイスパーツの交換方法

フェイスパーツを交換するには、1→フェイスパーツの順番で取り外して、交換するフェイスパーツを逆の手順で取り付けてください。

9 〈帽子あり頭部の完成〉

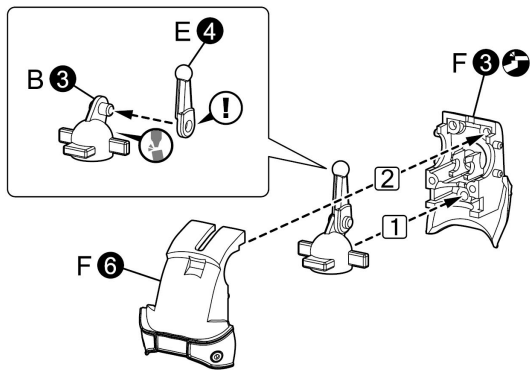


<組み立てた状態>

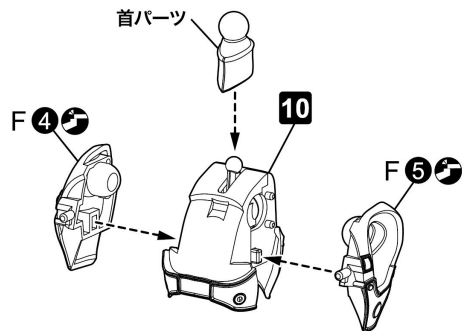


※写真を参考に、帽子の角度を調整してください。
※写真はフレームアームズ・ガール グライフェン (別売り) の塗装完成品を使用しています。

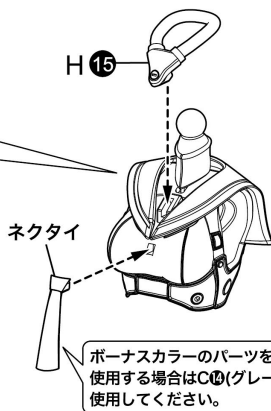
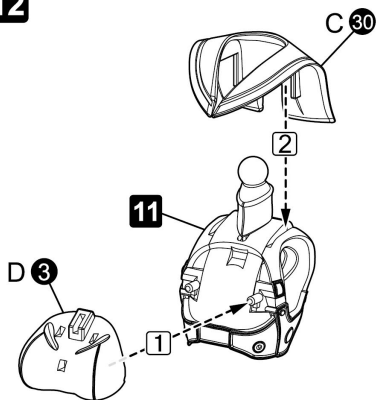
10 胴体の組み立て



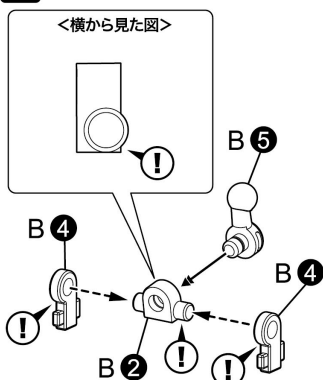
11



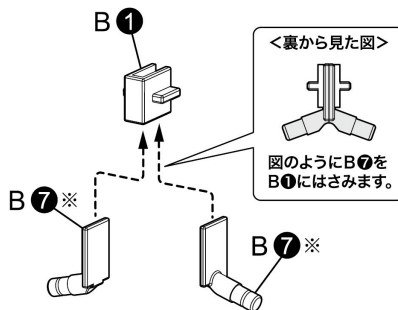
12



13

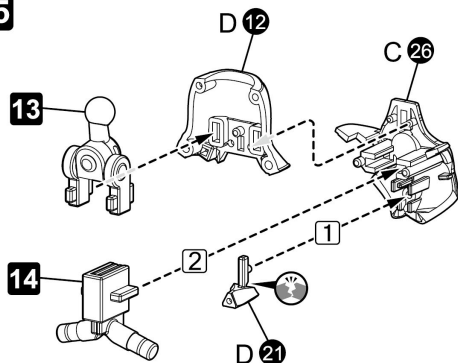


14

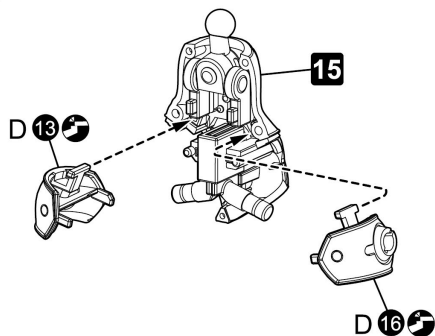


※ゲートをきれいに切り取ります。

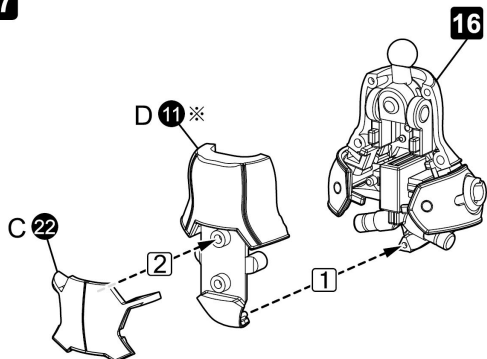
15



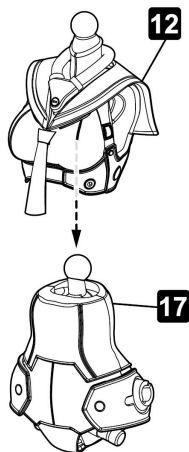
16



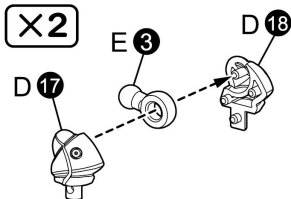
17



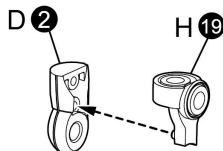
18 〈胴体の完成〉



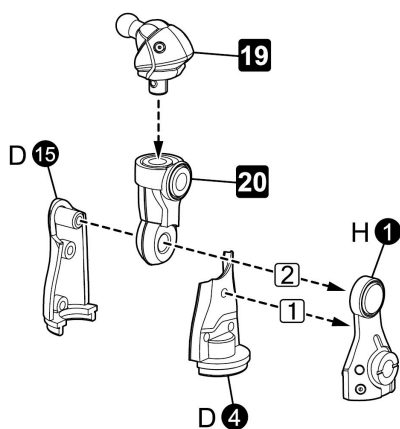
19 腕部の組み立て



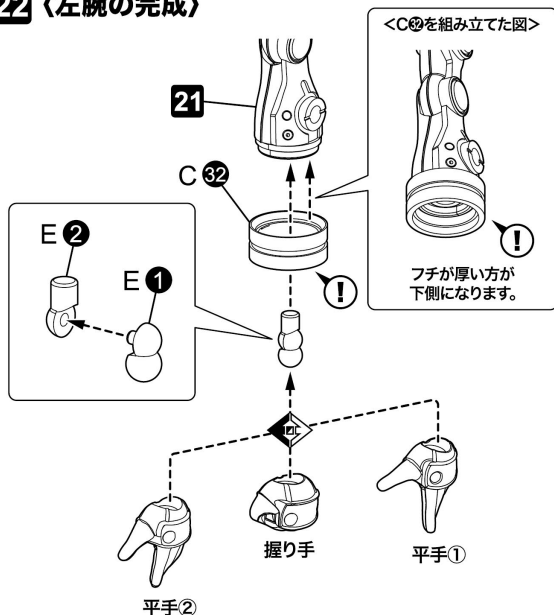
20



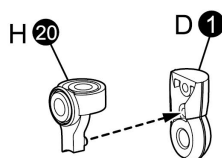
21



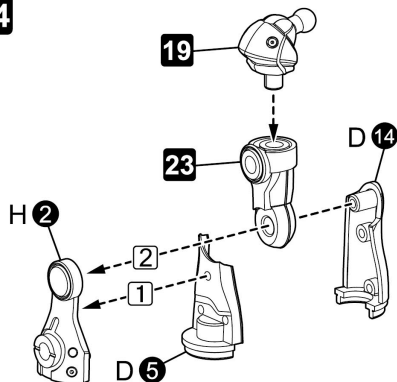
22 〈左腕の完成〉



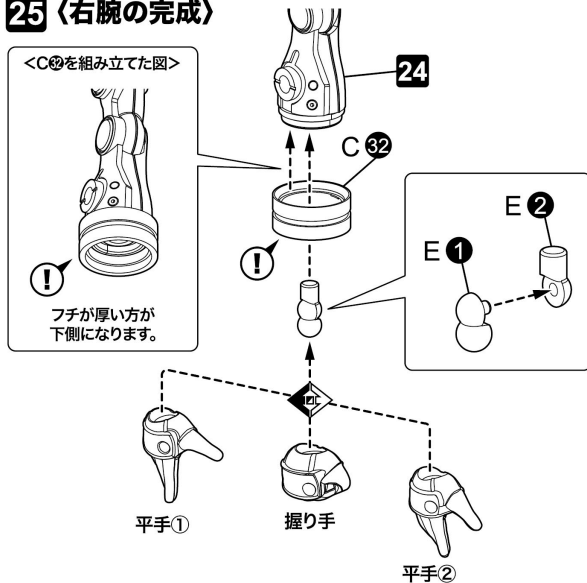
23



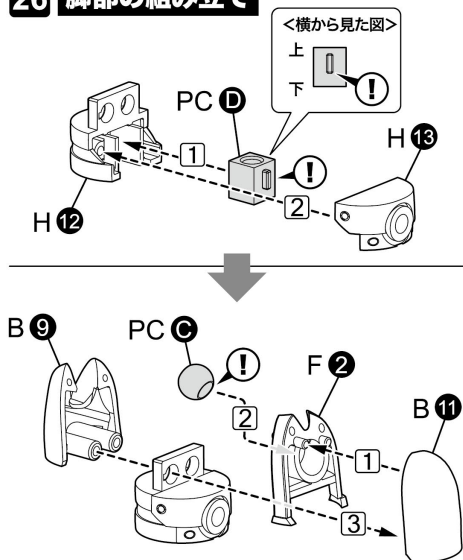
24



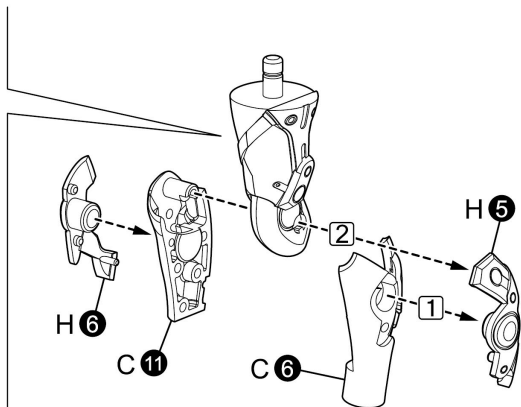
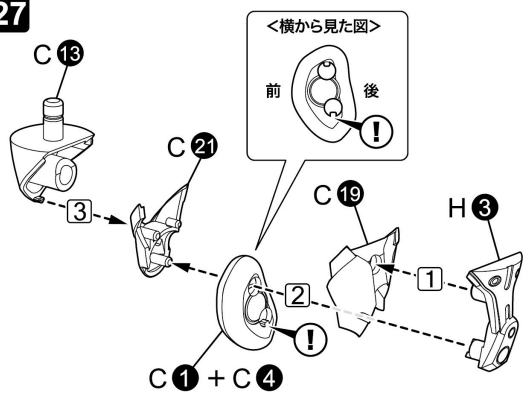
25 〈右腕の完成〉



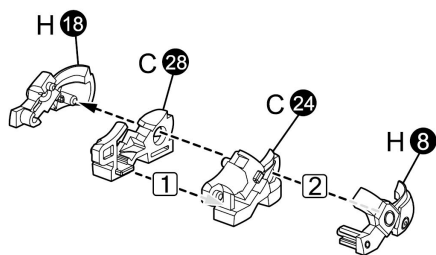
26 脚部の組み立て



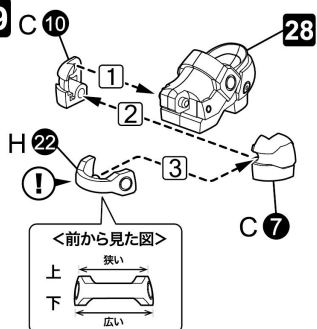
27



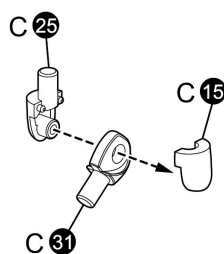
28



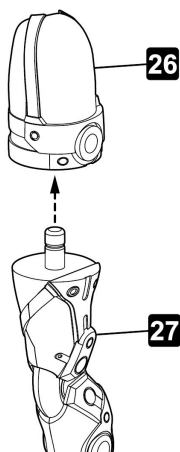
29



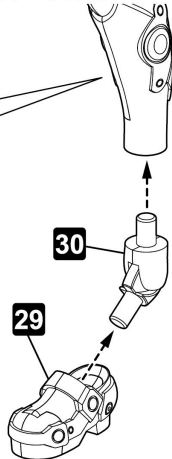
30



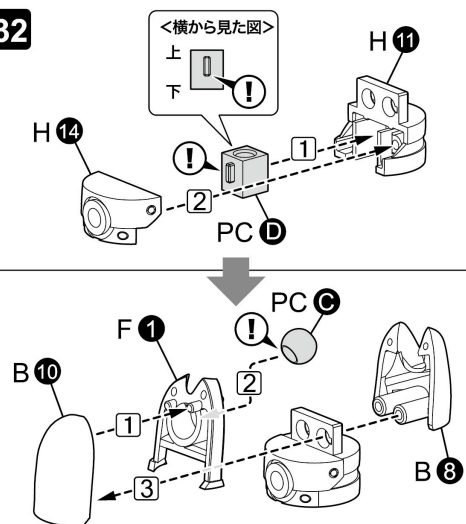
31



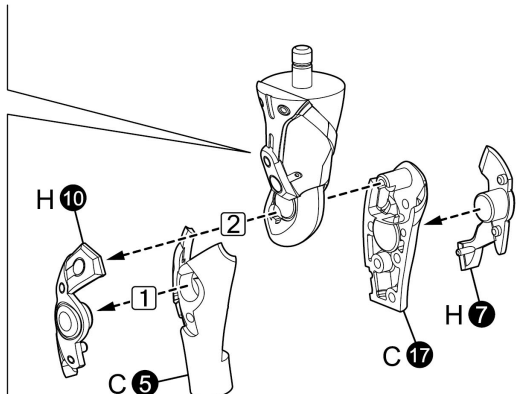
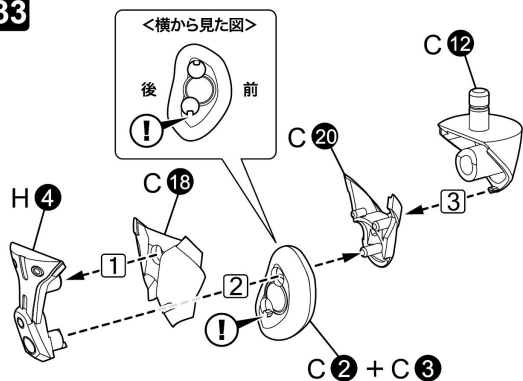
<左脚の完成>



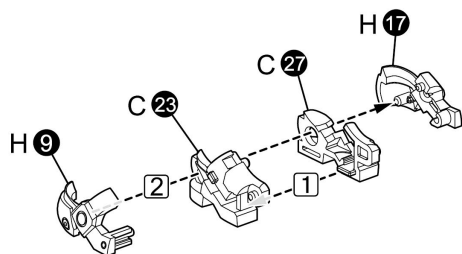
32



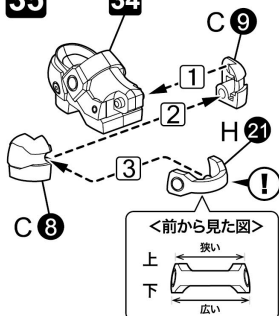
33



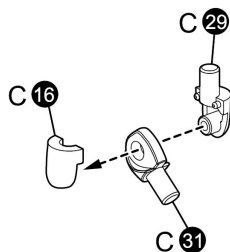
34



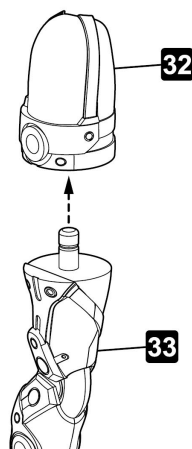
35



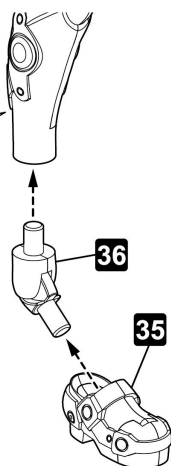
36



37

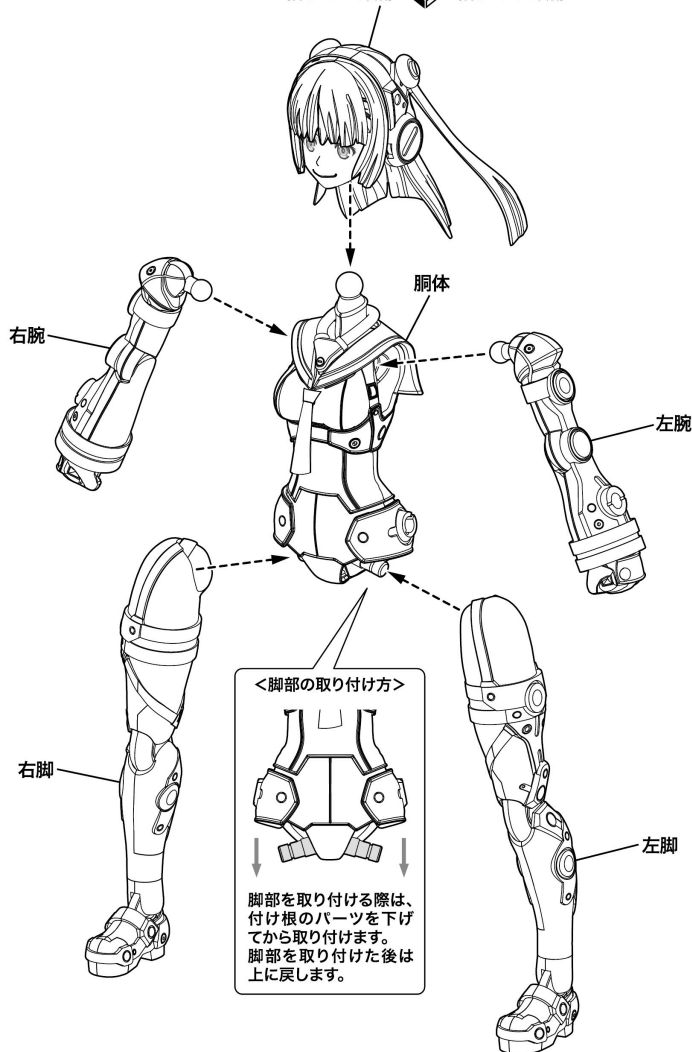


《右脚の完成》



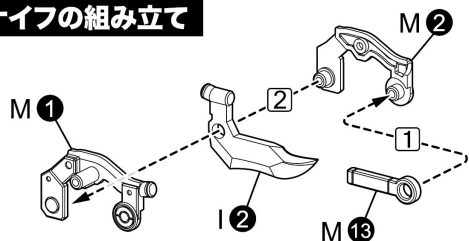
38 《素体状態の完成》

帽子なし頭部 ⇄ 帽子あり頭部

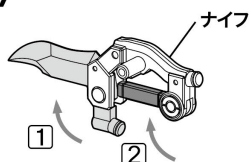


武器の組み立て

39 ナイフの組み立て

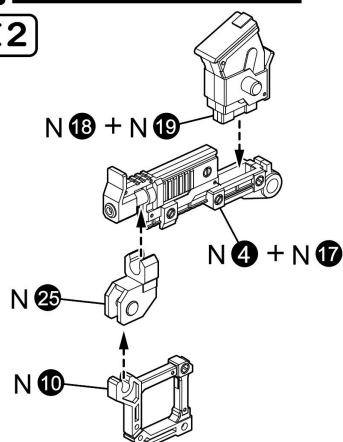


〈ナイフ・展開状態〉



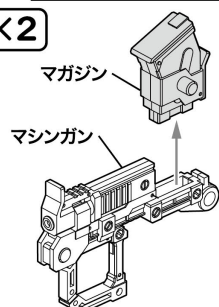
40 マシンガンの組み立て

×2

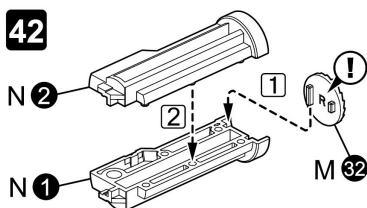


41 ロケットランチャーの組み立て

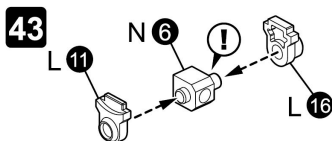
×2



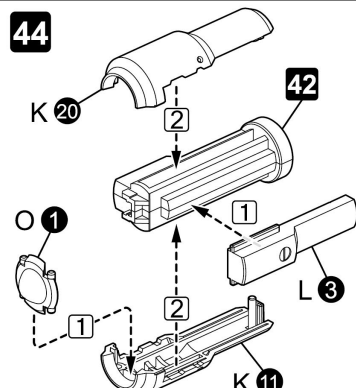
42



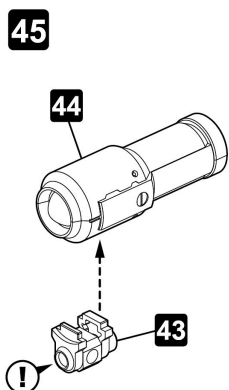
43



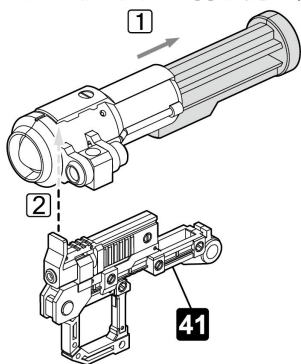
44



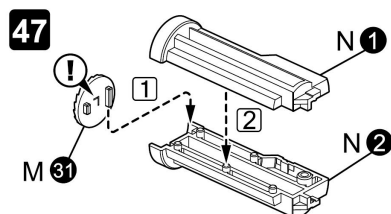
45



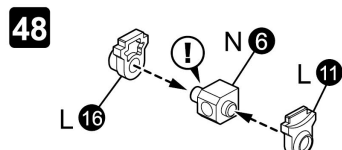
46 〈ロケットランチャー・右手用の完成〉



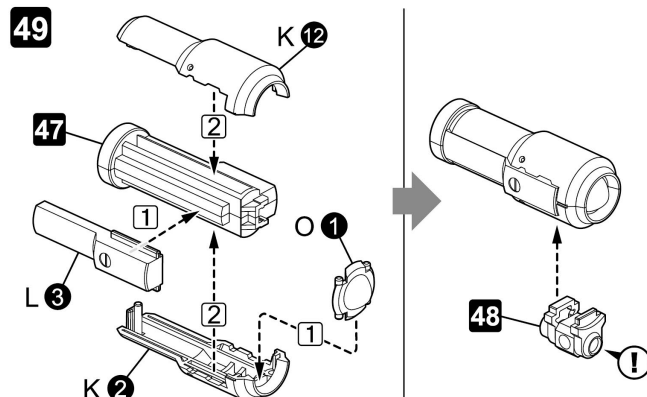
47



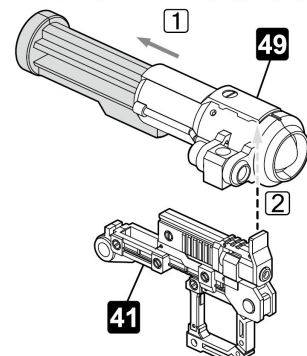
48



49



50 〈ロケットランチャー・左手用の完成〉

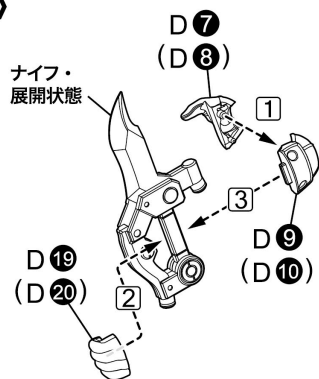


武器の持たせ方

※武器を持たせた後は、図2、図4を参考に手首を交換してください。

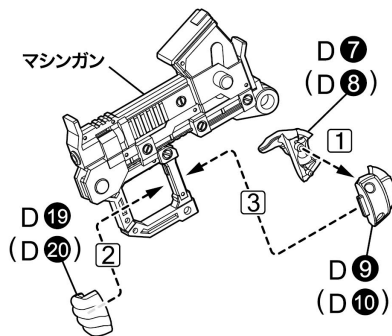
※図は左手に持たせる場合の説明になります。右手に持たせる場合は、()内のパーツを使用してください。

〈ナイフ〉

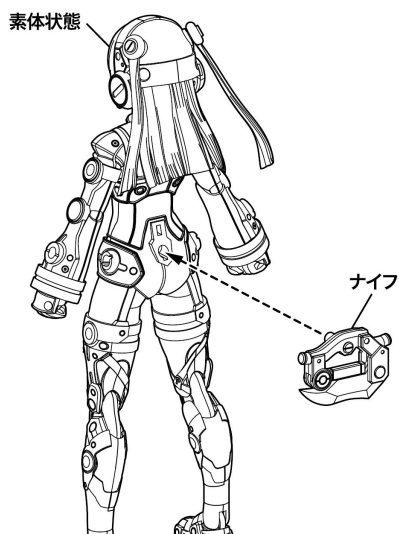


〈マシンガン・ロケットランチャー〉

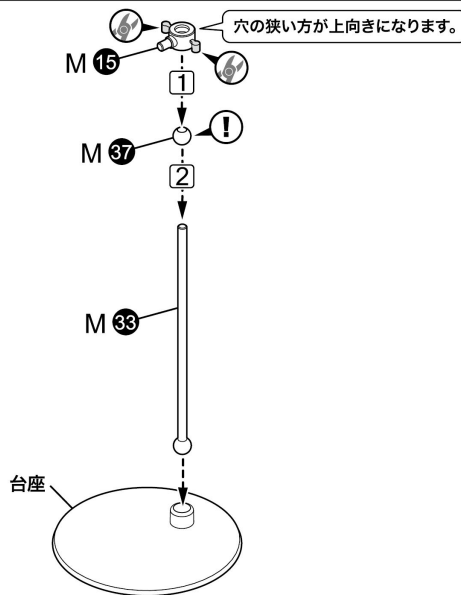
※ロケットランチャーも同様に持たせます。



ナイフの取り付け方



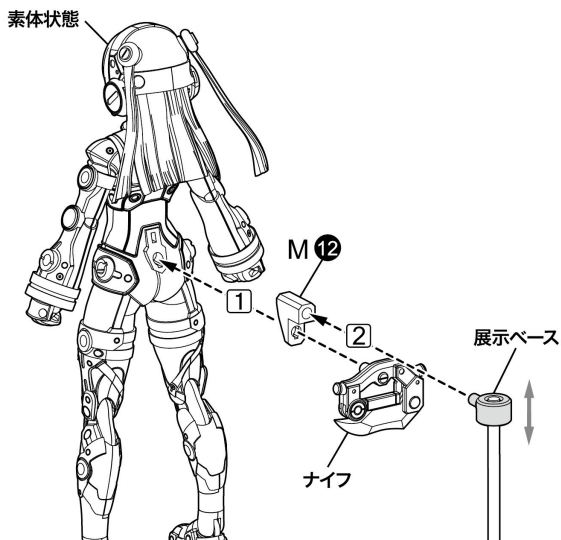
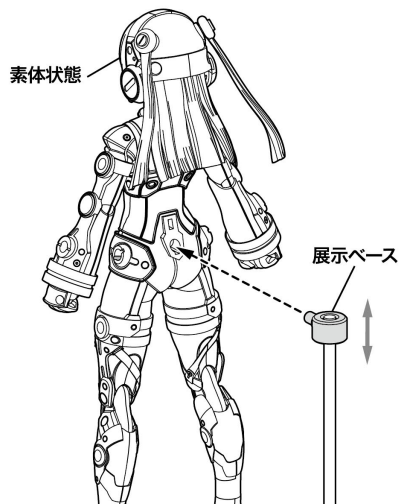
展示ベースの組み立て



〈展示ベースの使用法〉

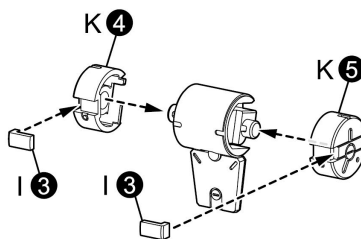
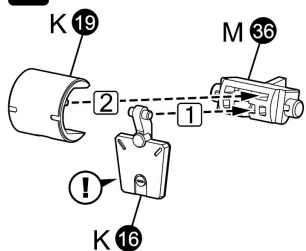
※接続部はお好みで高さを調節することができます。

※ナイフを同時に取り付ける際は、右図のように組み立ててください。

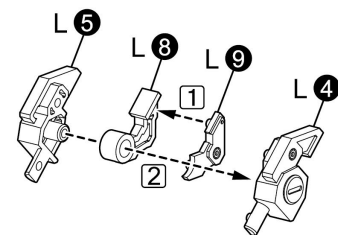


武装状態の組み立て

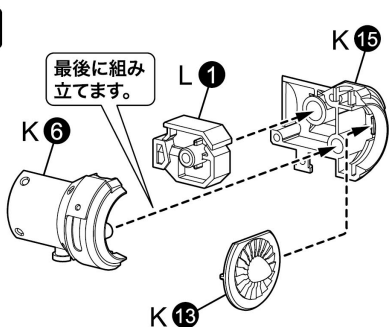
51



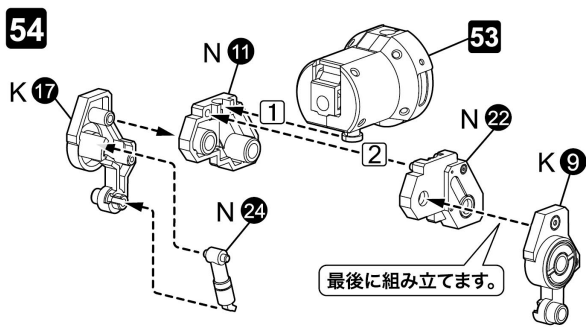
52 ×2



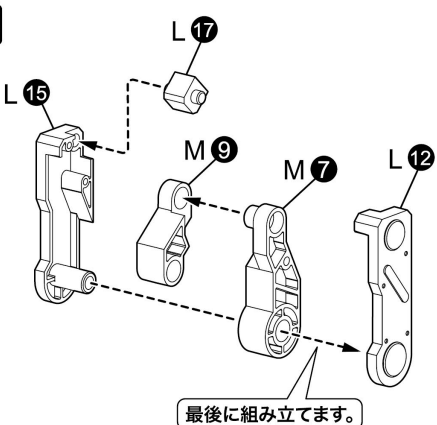
53



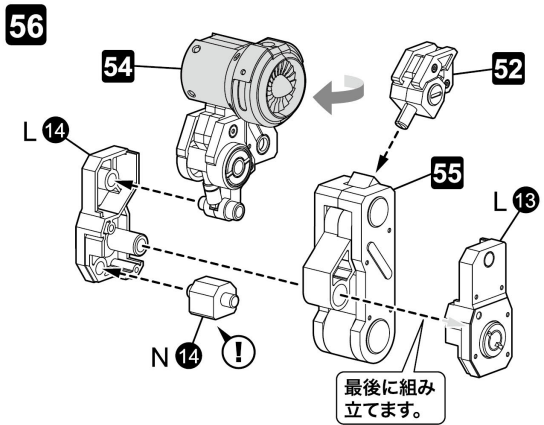
54



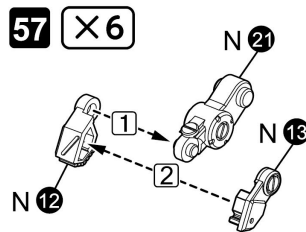
55



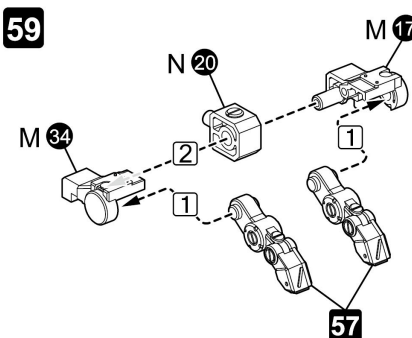
56



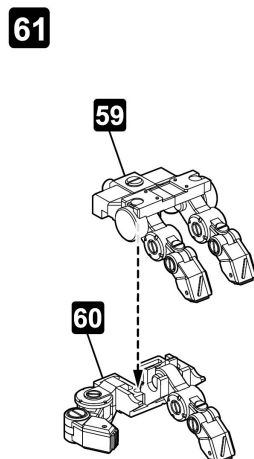
57 ×6



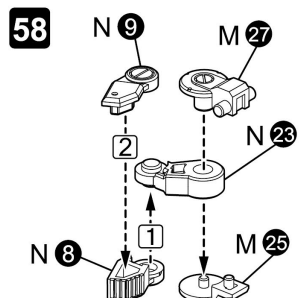
59



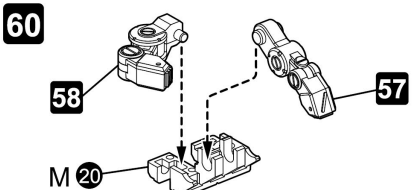
61



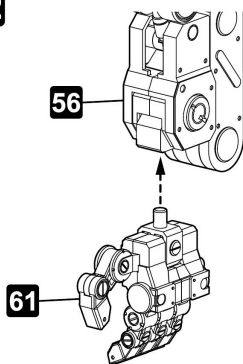
58



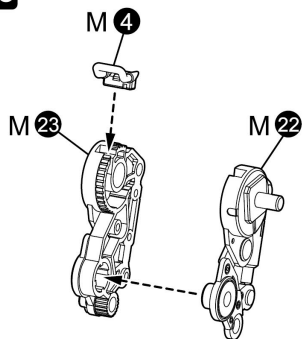
60



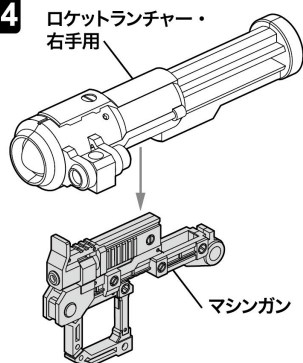
62



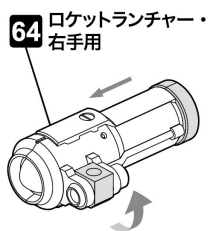
63



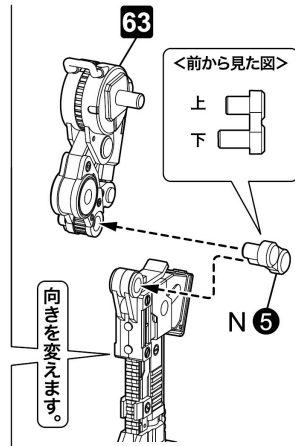
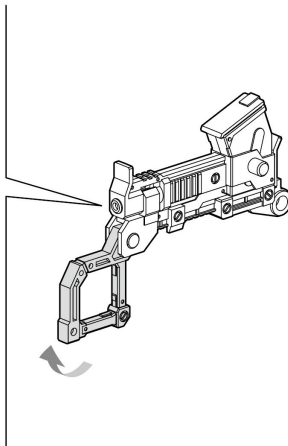
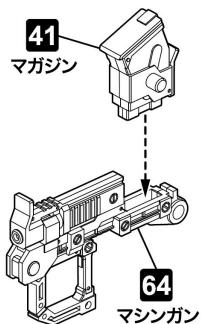
64



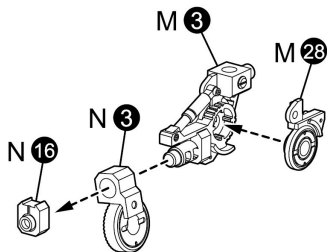
65



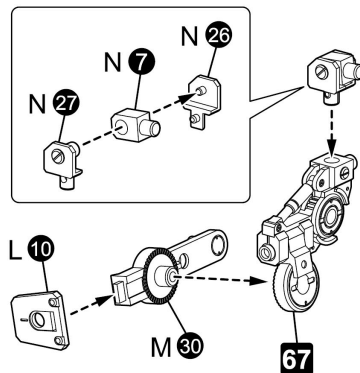
66



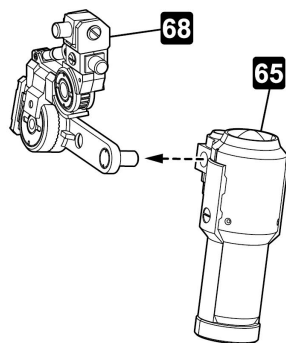
67



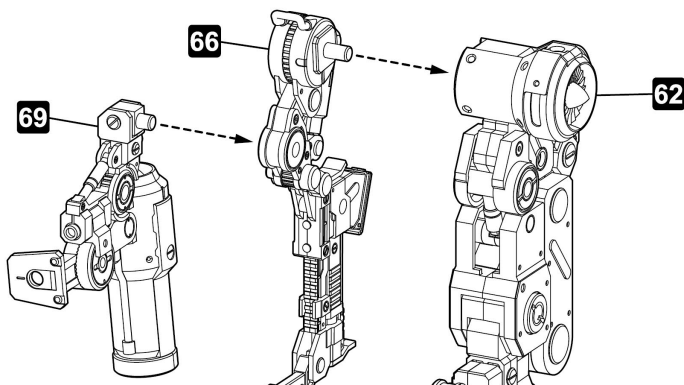
68



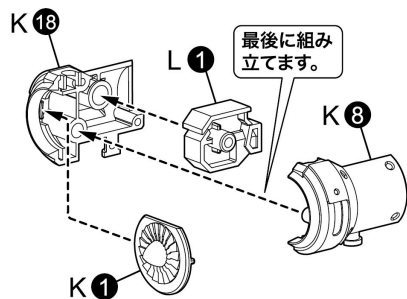
69



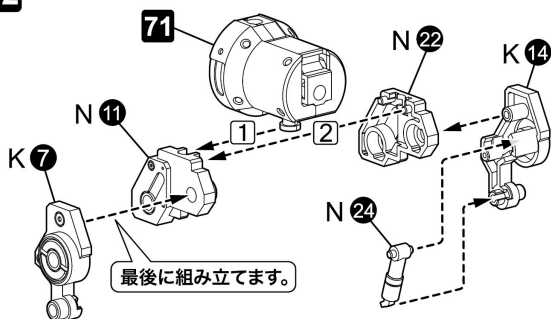
70



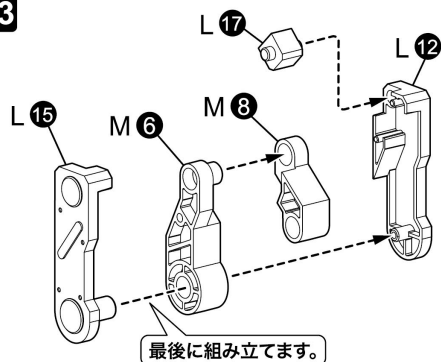
71



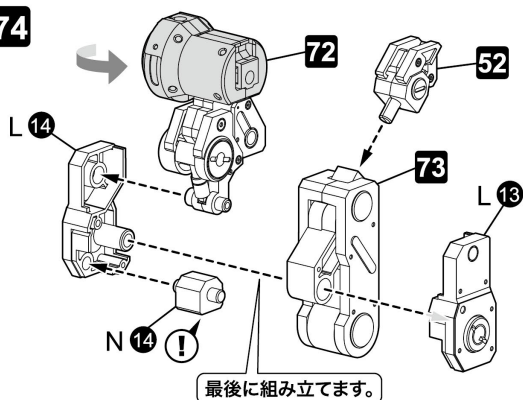
72



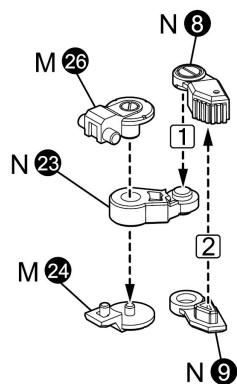
73



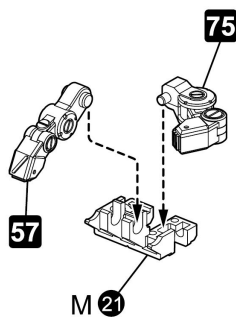
74



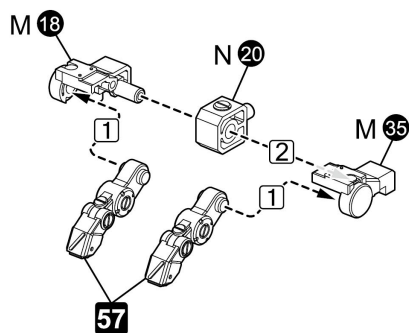
75



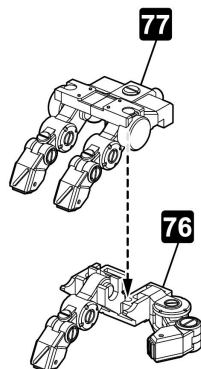
76



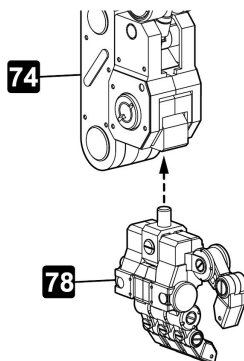
77



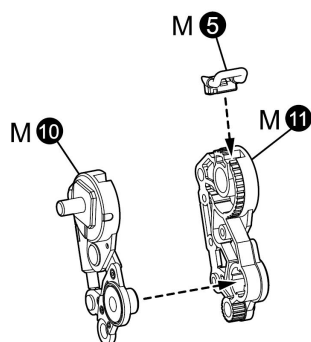
78



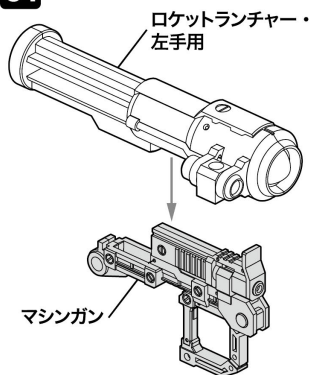
79



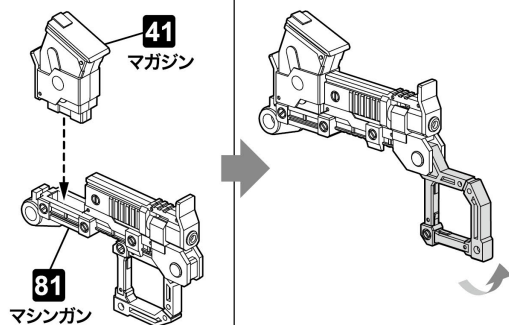
80



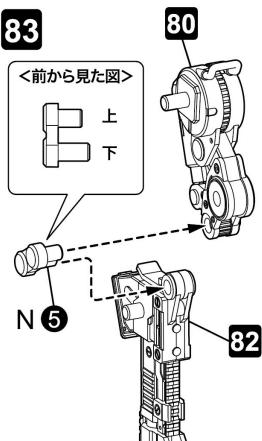
81



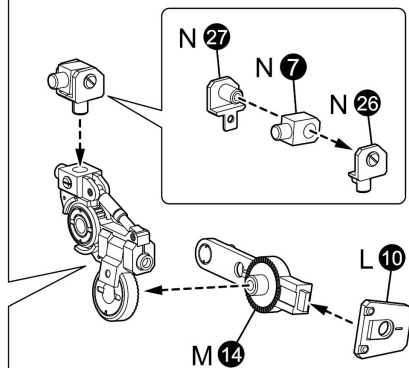
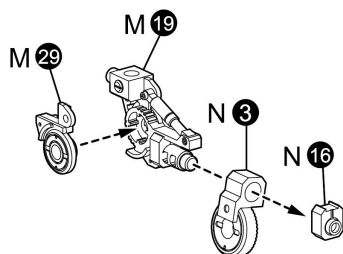
82



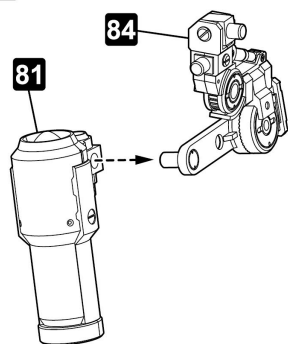
83



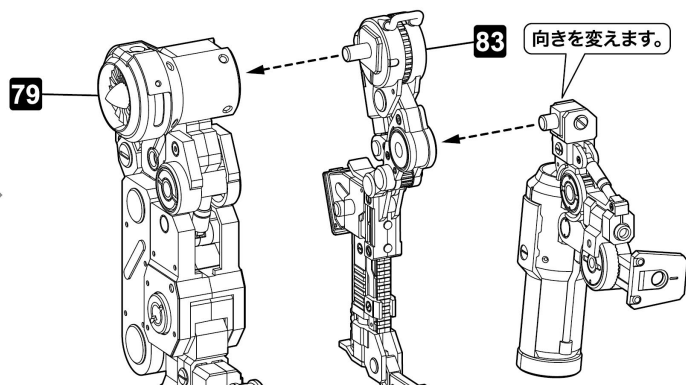
84



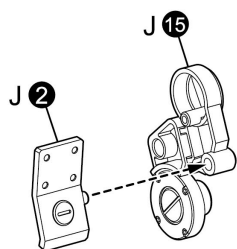
85



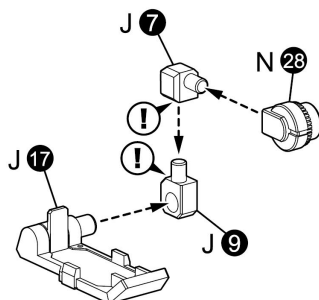
79



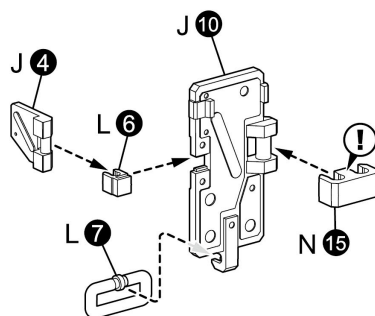
86



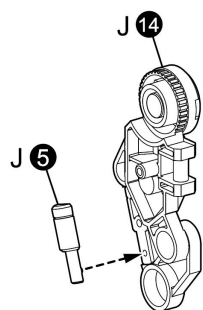
87



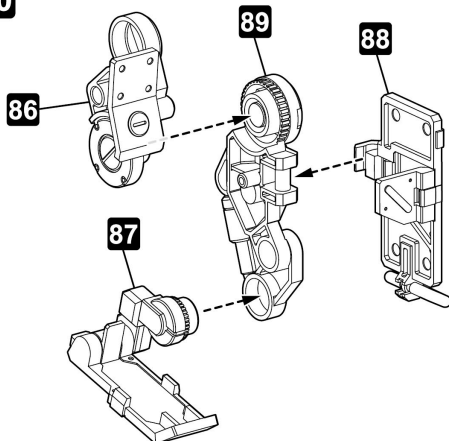
88



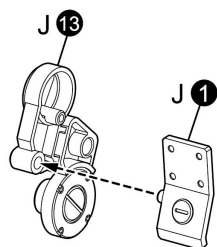
89



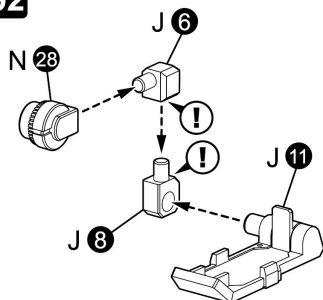
90



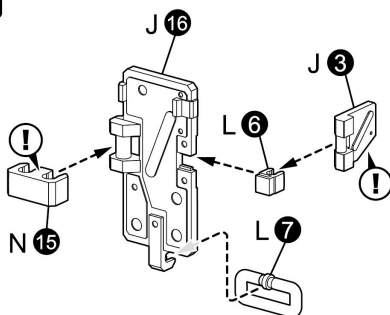
91



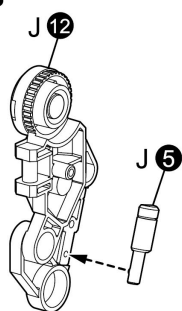
92



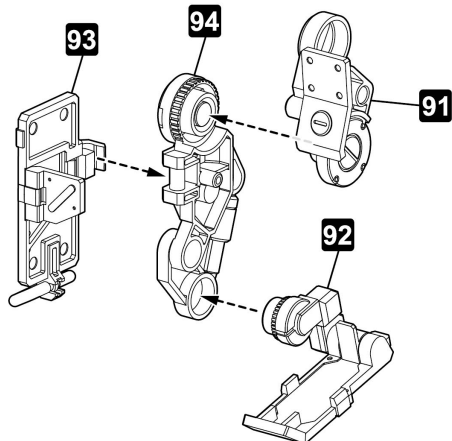
93



94

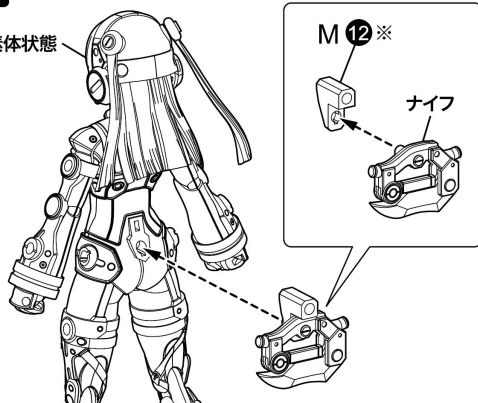


95



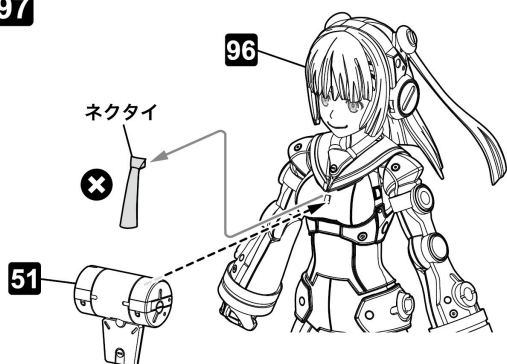
96

素体状態

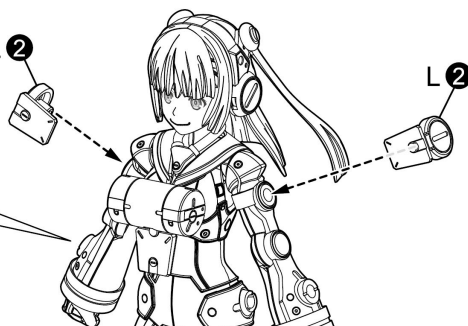


※「展示ベースの使用方法」で使したM12です。

97



L 2

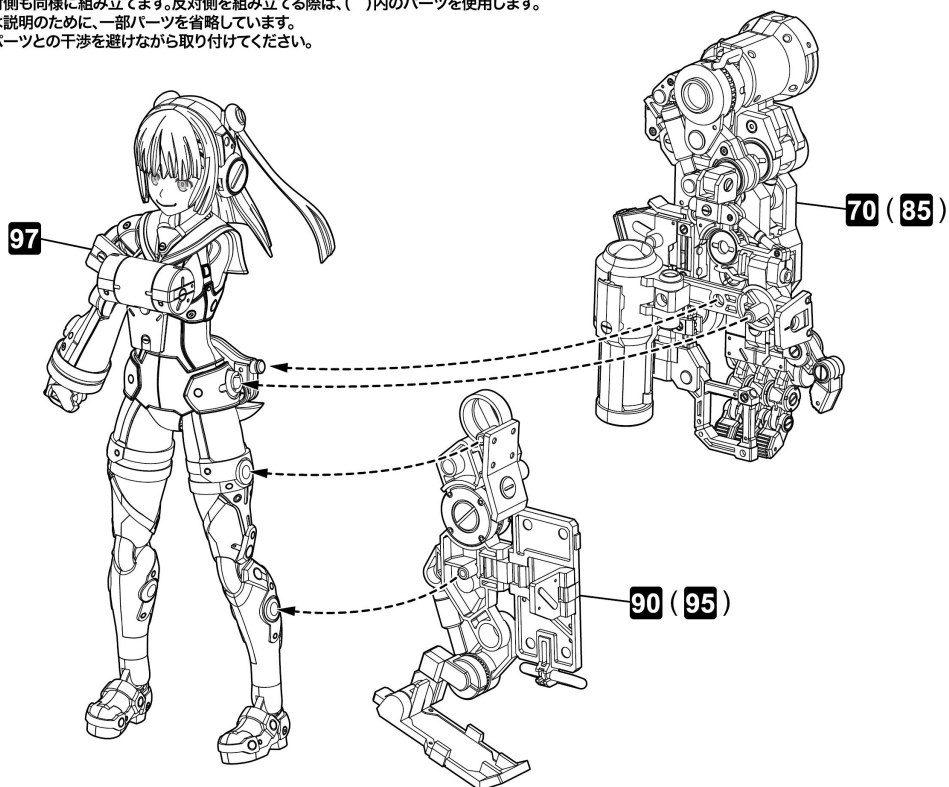


98

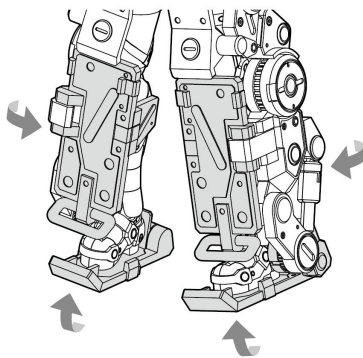
※反対側も同様に組み立てます。反対側を組み立てる際は、()内のパーツを使用します。

※図は説明のために、一部パーツを省略しています。

※各パーツとの干渉を避けながら取り付けてください。



〈武装状態の完成〉



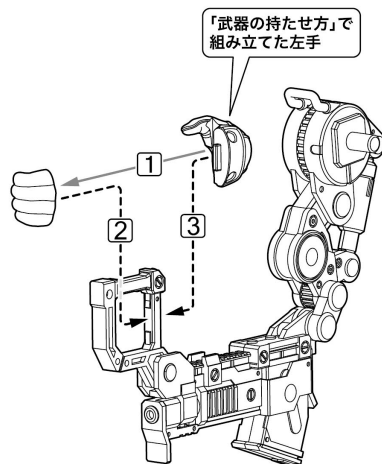
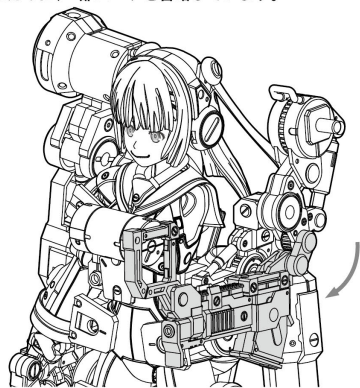
グリップの握らせ方

※「武器の持たせ方」で組み立てた左手を使用して握らせます。

反対側は右手を使用して同様に握らせます。

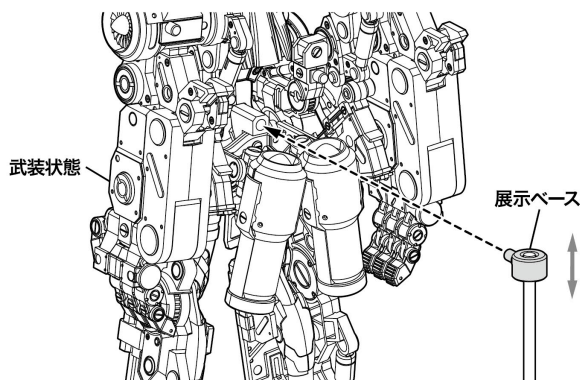
※手首をグリップに握らせた後は、図2、図3を参考に交換します。

※図は説明のために、一部パーツを省略しています。



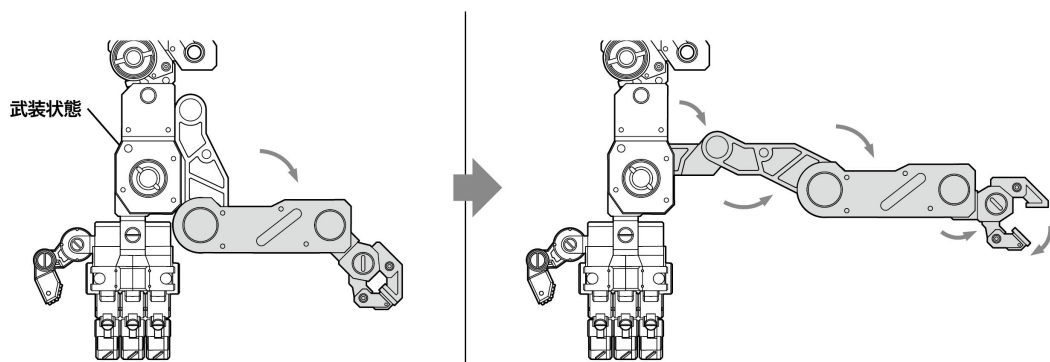
展示ベースの使用方法

※接続部はお好みで高さを調節することができます。
※各部の干渉を避けながら取り付けてください。



サブアームの可動

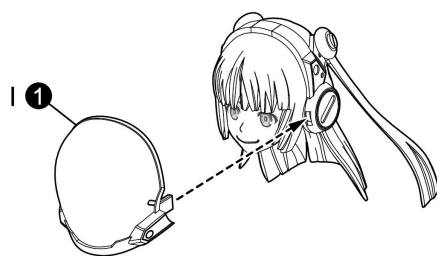
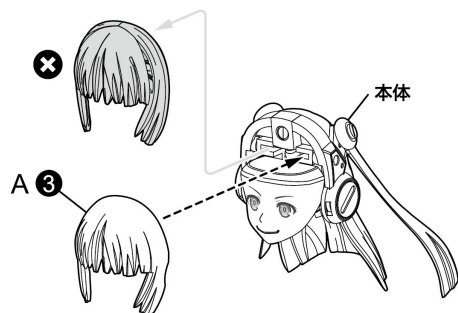
※サブアームは図のように引き出して、可動させることができます。※図は左側の説明です。右側も同様に可動させることができます。
※図は説明のために、一部パーツを省略しています。



ヘルメットの装着

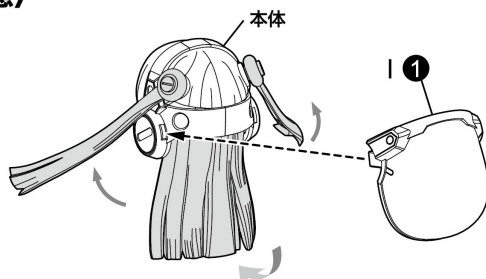
※頭部は、帽子なし状態にしておきます。
※図は説明のために、一部パーツを省略しています。

〈ヘルメット クローズ状態〉



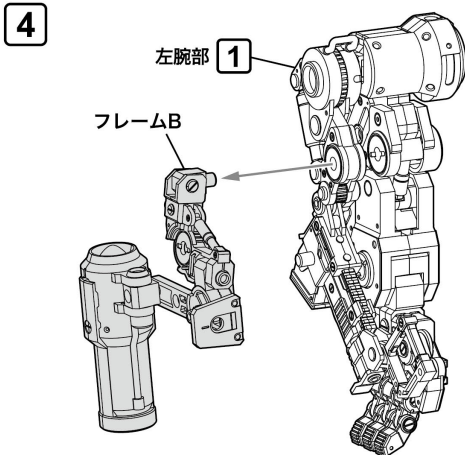
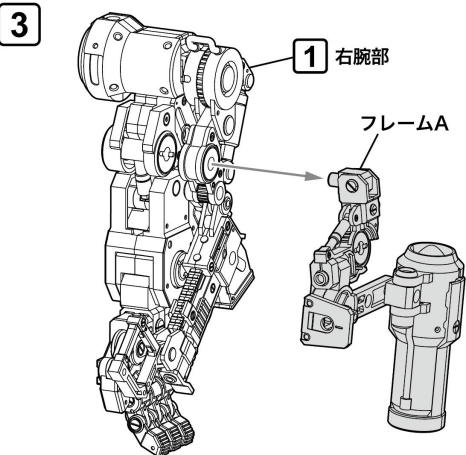
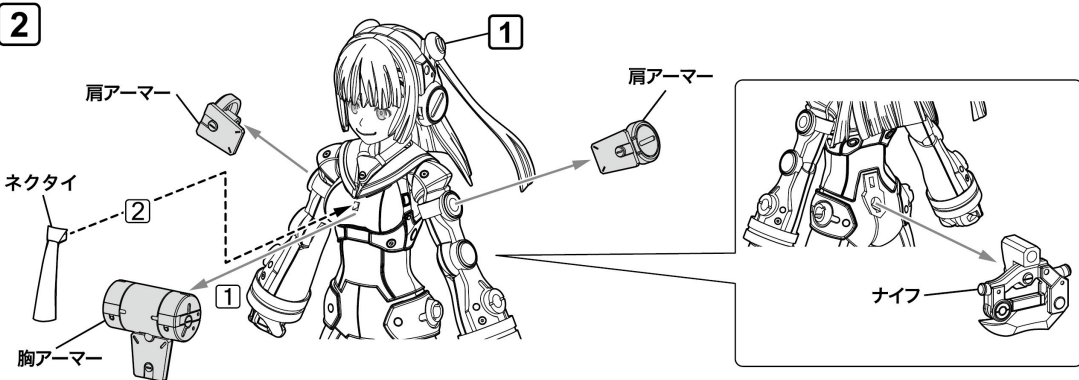
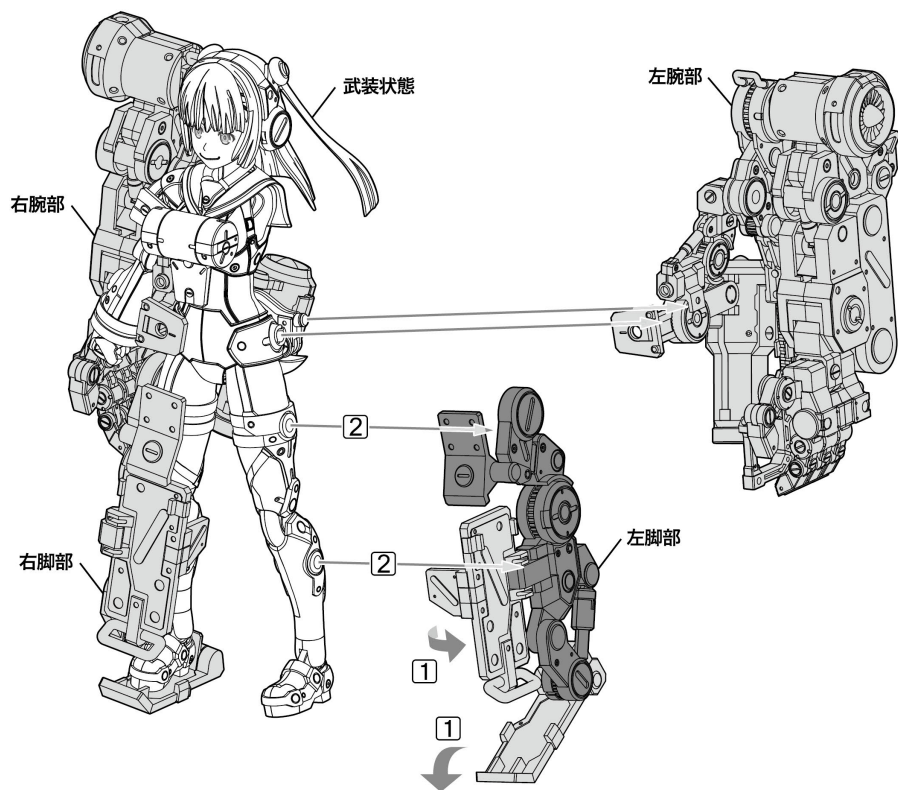
〈ヘルメット オープン状態〉

※ヘルメットを取り付けた後は、髪パーツを元の位置に戻します。



ライドビークルの組み立て

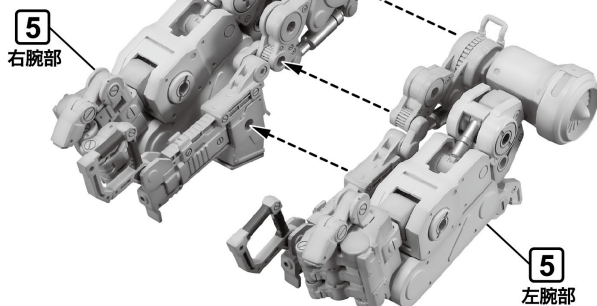
- 1** ※右側も同様に取り外します。
 ※各パーツとの干渉を避けながら取り外します。※図は説明のために、一部パーツを省略しています。



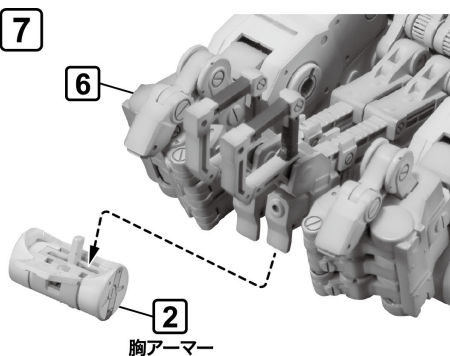
- 5** ※④左腕部も同様に变形させます。
 ※画像は説明のために、一部パーツを省略
 しています。
 ※写真は全てフレームアームズ・ガール
 グライフェン(別売り)の塗装完成品を使用
 しています。



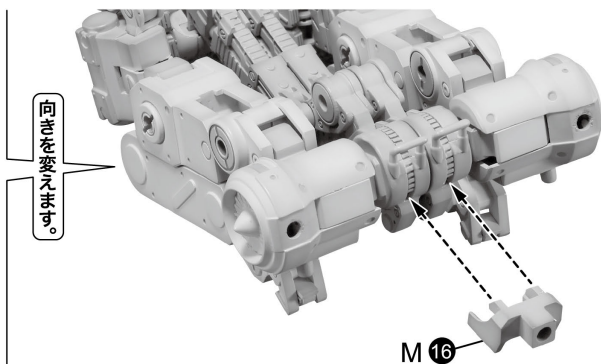
6



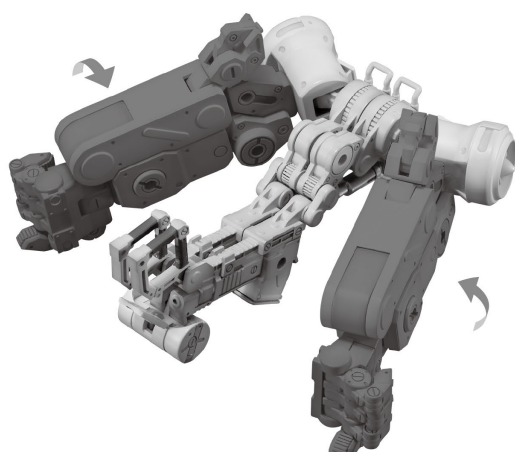
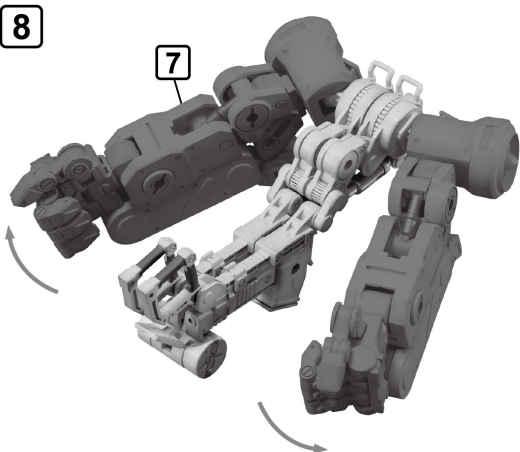
7



向きを変えます。

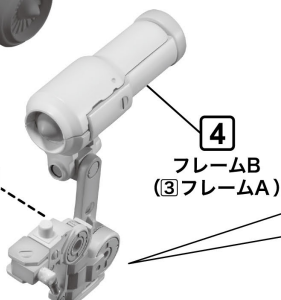
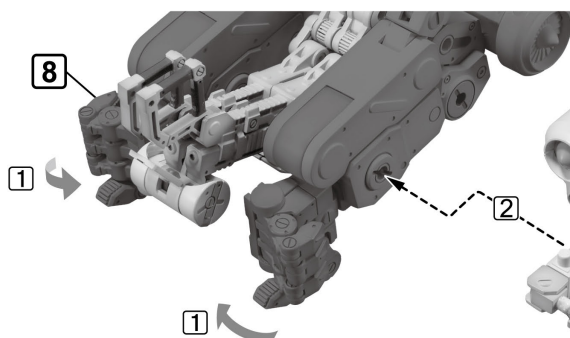


8

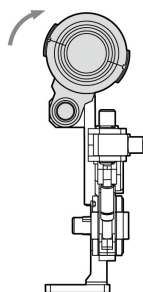


9

※反対側は()内の番号のパーツを使用して、同様に組み立てます。

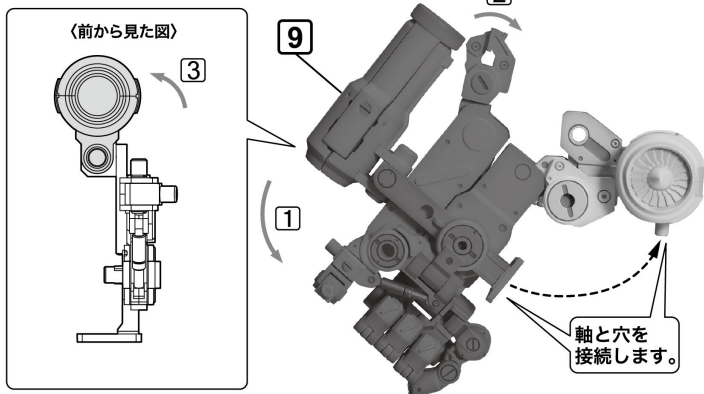


〈前から見た図〉

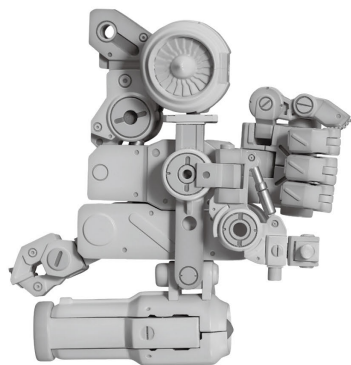


※グレー部分を動かしてから
 取り付けます。

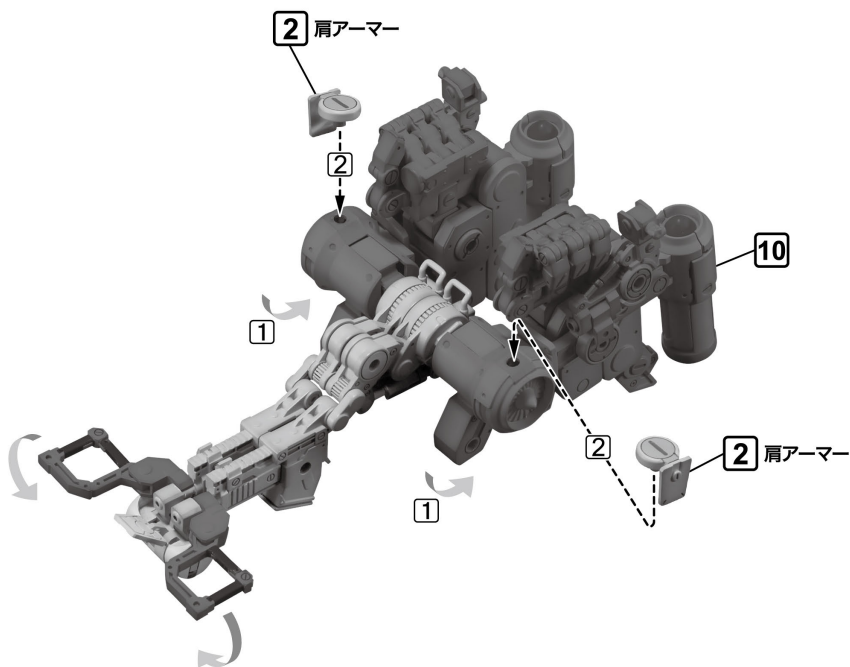
10 ※反対側も同様に变形させます。
※図は説明のために、一部パーツを省略しています。



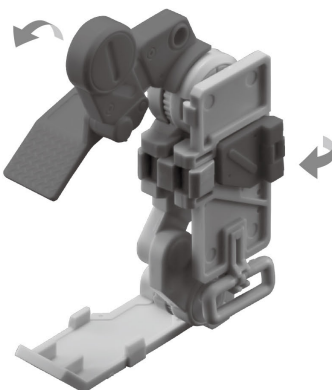
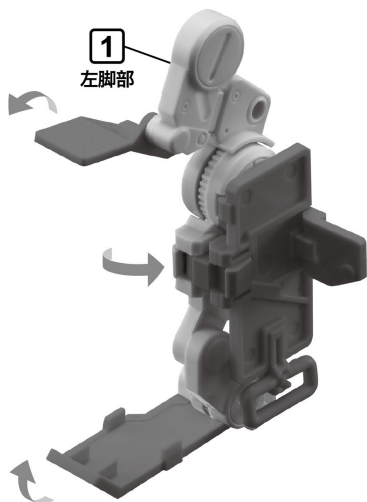
＜变形させた状態＞



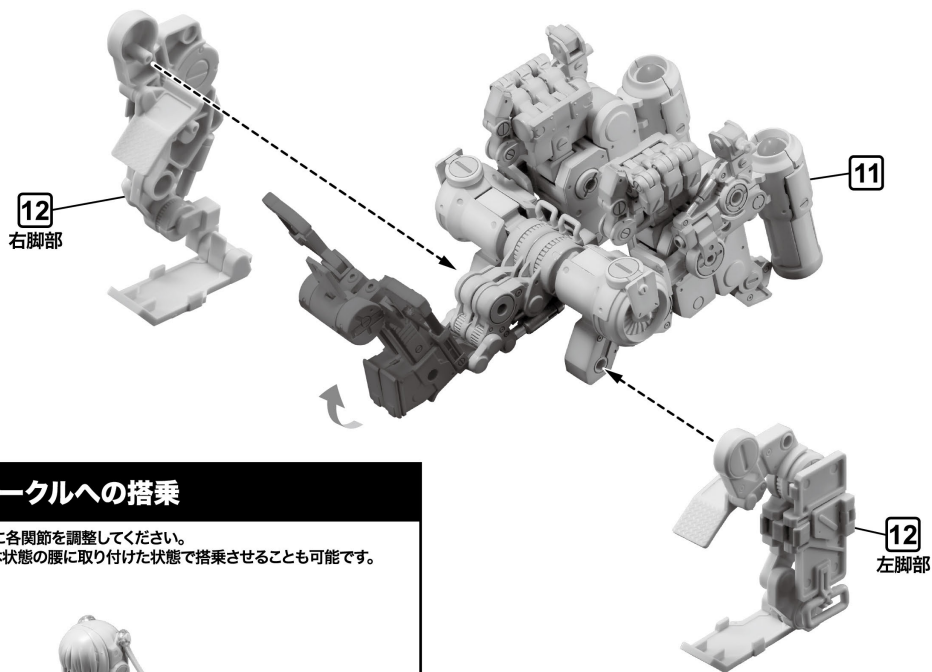
11



12 ※右脚部も同様に变形させます。

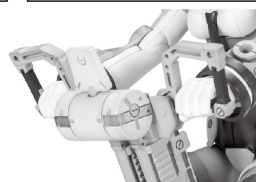
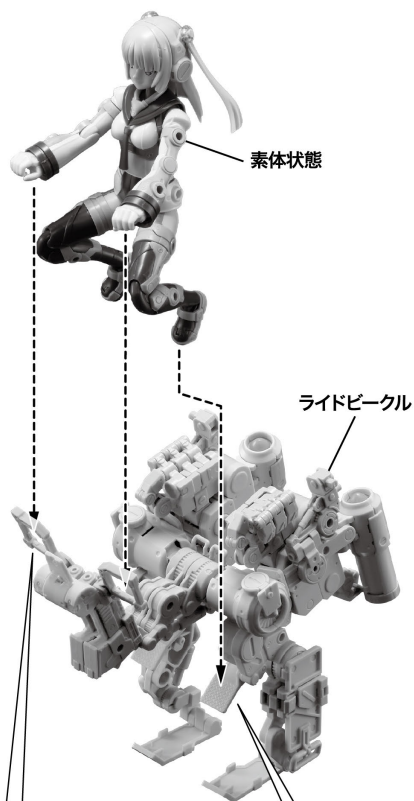


13 〈ライドビークルの完成〉 ※ナイフはお好みの3mm径穴に取り付けることが可能です。



ライドビークルへの搭乗

※写真を参考に各関節を調整してください。
※ナイフを素体状態の腰に取り付けた状態で搭乗させることも可能です。



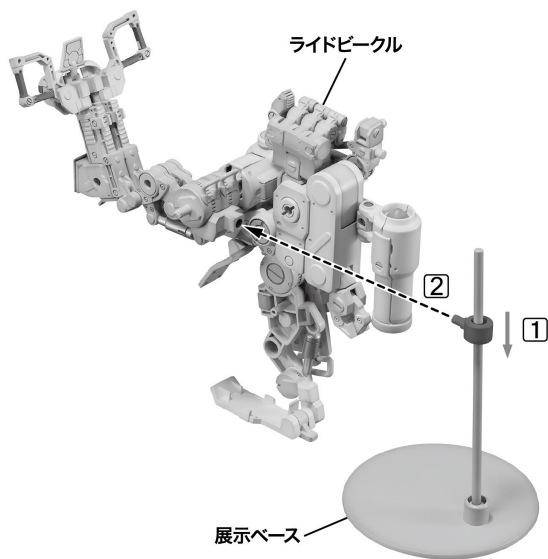
※写真と「グリップの握らせ方」を参考にグリップを持たせてください。反対側も同様です。



※写真を参考に足を乗せてください。反対側も同様です。

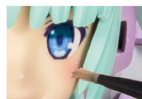
展示ベースの取り付け

※図は説明のために、一部パーツを省略しています。



COLOR/DECAL GUIDE

※水転写デカールの貼り方については、本書内「水転写デカールの貼り方」をご参照ください。
※デカールの位置を確認して貼ってください。
※余ったデカールは、お好きな位置に貼ってください。



頬紅

頬紅は、ピンク色のパステル（[ヌーベル カラーパステル] ローズ 014）を紙やすり（400番）で粉にして、短めの筆にとって軽く撫でるようにして彩色します。頬紅の後、頬の白のハイライトを入れるとより再現度が上がります。

①=デカール番号

①～③の選択式

※②はイメージイラスト用です。



●=Mr. カラーシリーズ(株式会社 GSI クレオス)

●1 Mr. カラー / H-1 水性ホビーカラー : ホワイト

●GX1 Mr. カラー GX : クールホワイト

●CR1 色ノ源 : シアン

■=ガイアカラーシリーズ(ガイアノーツ株式会社)

■001 ガイアカラー : ピュアホワイト

■FG-01 フレームアームズ・ガールカラー : プラスチックフレッシュ

※こちらの塗料は全国の模型店及びホビーショップ等でお買い求めください。
※塗料の配合比は参考値になります。ご了承ください。

髪 エメラルドグリーン

- 1/H-1 : ホワイト (95%)
- 65/H-15 : インディブルー (4%)
- 4/H-4 : イエロー (1%)

肌

- 111 : キャラクターフレッシュ (1) (80%)
- 112 : キャラクターフレッシュ (2) (20%)
- または
- FG-02 : ベースフレッシュ (100%)

パープル

- GX1 : クールホワイト (81%)
- 034 : 純色マゼンタ (7%)
- 67/H-39 : パープル (5%)
- 44/H-27 : タン (5%)
- 13/H-53 : ニュートラルグレー (1%)
- 171 : 蛍光レッド (1%)

グレー

- 1/H-1 : ホワイト (65%)
- 13/H-53 : ニュートラルグレー (25%)
- 29/H-17 : 艦底色 (6%)
- 58/H-24 : 黄褐色 (4%)

ダークパープル

- 71/H-55 : ミッドナイトブルー (40%)
- 67/H-39 : パープル (26%)
- GX1 : クールホワイト (20%)
- 100/H-43 : マルーン (13%)
- 2/H-2 : ブラック (1%)

ブラウン

- 44/H-27 : タン (60%)
- 43/H-37 : ウッドブラウン (40%)

ネクタイ レッド

- GX1 : クールホワイト (45%)
- 79/H-23 : シェインレッド (25%)
- 47/H-90 : クリアレッド (25%)
- 29/H-17 : 艦底色 (5%)

グリップ ブルー

- 14/H-54 : ネービーブルー (100%)

ロケットランチャー センサー ブルー

- ベース
- 8/H-8 : シルバー (100%)
- コート
- 50/H-93 : クリアブルー (60%)
 - 46/H-30 : クリア (40%)

シリンダー ゴールド

- 9/H-9 : ゴールド (100%)

ロケット弾頭



シリンダーシルバー

- 8/H-8 : シルバー (100%)

ロケット弾頭 レッド

- 79/H-23 : シェインレッド (60%)
- 44/H-27 : タン (40%)

※ABS 製パーツへの塗装は、パーツの破損につながる恐れがありますので、塗装はお勧めできません。

※POM 製パーツ、PVC 製パーツは材質上、塗料をはじくため塗装はお勧めできません。

※ラッカー系塗料(溶剤系アクリル樹脂塗料)と、水性塗料(水溶性アクリル樹脂塗料)は混色できませんので、ご注意ください。

